

沖縄北部ダムツーリズムに関する意見交換会の開催

- 10月27日に日本旅行業協会沖縄県支部との現地視察、及び北部自治体・地元観光関係者等を交えた意見交換会を開催。(今回初)
- ①沖縄北部ダム湖サミット宣言の実現、②北部水源地域の活性化、③ダムやその周辺地域等の魅力を活かした「沖縄北部ダムツーリズム」の発信を目的に実施。
- 意見交換会において、北部地域より地域活性化の取り組みの紹介、日本旅行業協会側からは「沖縄北部ダムツーリズム」の発信に向けた様々な意見が出された。

■意見交換会における主な意見

- ・北部地域の様々な地域活性化の取り組みを観光商品として活用できないか。(カヌー・民泊事業等)
- ・本土のダムと比較しスケール感が無い。話題性のある取り組みを打ち出すことが重要。(例:観光放流・黒部ダムのトロリーバス・トロッコ列車等)
- ・修学旅行では今まで平和学習が主だったが、今後は環境学習や沖縄のダムについても知って頂くようなインフラ観光のムーブメントを起こせないか。
- ・沖縄の人も沖縄のダムを知らない人が多い。まず家族でのピクニック等中南部の人々を誘導するようにすれば、ロコミ等で県外からの観光客も増える。
- ・観光のリードは女性。女性の興味・関心ををいかに取り込むかが重要。
- ・RVパーク(トイレ・水・電気)等のインフラ整備次第でキャンピングカーの文化を沖縄にも普及させることが可能。
- ・各地域個別の取り組みについて横の連携や次につないでいく情報発信の仕方が重要。

現地での意見



「沖縄は海というイメージがあるが、ダム湖の良さを知ることができた。今後、観光の良い商品になるのではないかと話した。」

10/27: NHK沖縄 (18:10~Hot Eye)

意見交換会の実施状況



【意見交換会参加者】

日本旅行業協会(JATA)沖縄県支部、北部既存ツアー団体等、北部市町村関係、関連団体等

現地視察の実施状況



漢那ダム堤体内部

漢那ダム:第二貯水池・魚道・ダム堤体内部
安波ダム: 幻の滝「シゲランファー」
羽地ダム: ダム下流広場、羽地ダム資料館

参考:地域活性化の取り組み事例

国頭村:ジャングルカヌー



参考:沖縄北部ダム湖サミット宣言

私たちは、沖縄北部ダム湖サミットにおいて、やんばるの自然と水の大切さを念頭に、以下のとおり理念や方針を共有し、具体的な行動の第一歩とする。

- ー やんばるの貴重な自然は沖縄の宝であり、本島における貴重な水源地でもあることから、県民全体で森を守り、水を守ることが重要。
- ー 水源地やんばるの自然やダム湖の魅力を活かした活動を通じて、森や水の大切さを広く認識してもらえるように努力。
- ー ダムの存在する北部地域の連携のみならず、中南部地域との交流・連携を促進。

平成26年2月22日
沖縄北部ダム湖サミット参加者一同